

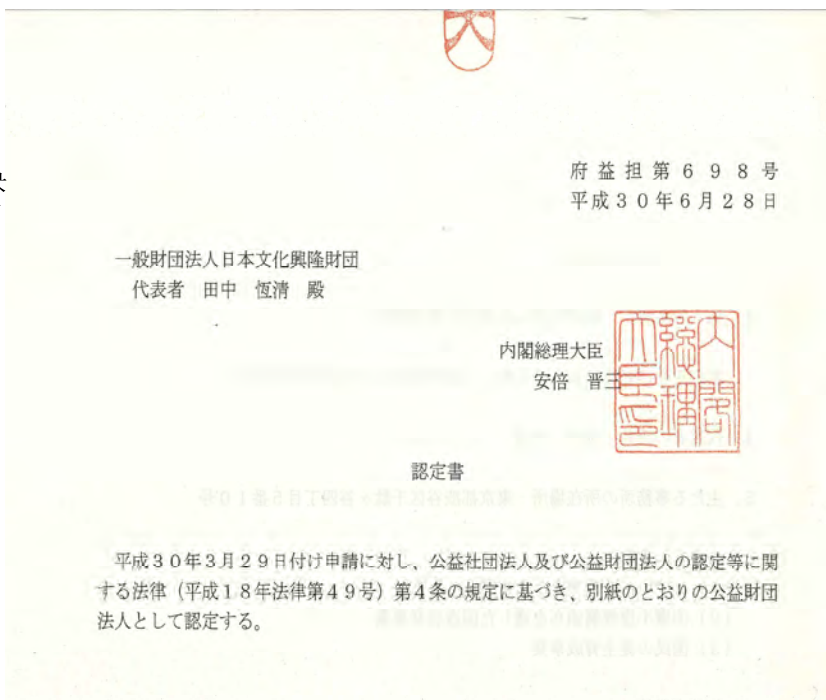
公益財団法人日本文化興隆財団
平成30年度 事業報告書



「公益財団法人」に認定（平成30年7月1日付）

これまでの実績を通して、更なる日本の伝統精神と文化を伝える事業展開を図るべく、平成28年9月の評議員会で公益法人化への調査検討を決議し、その後、幾多の審議を経て、平成30年7月1日付で内閣総理大臣より公益認定を受けた。これにより、同財団の主力事業である、季刊誌『皇室』の頒布普及事業も、学術その他公益に資する出版として、また、「神道文化検定（神社検定）」も社会的に有益な検定として、事業目的と内容から公益目的事業と認定された。

※認定書の日付は6月28日付だが書面到着日が認定日となり登記は7月1日付



【公益事業】日本の伝統精神と文化を伝える事業

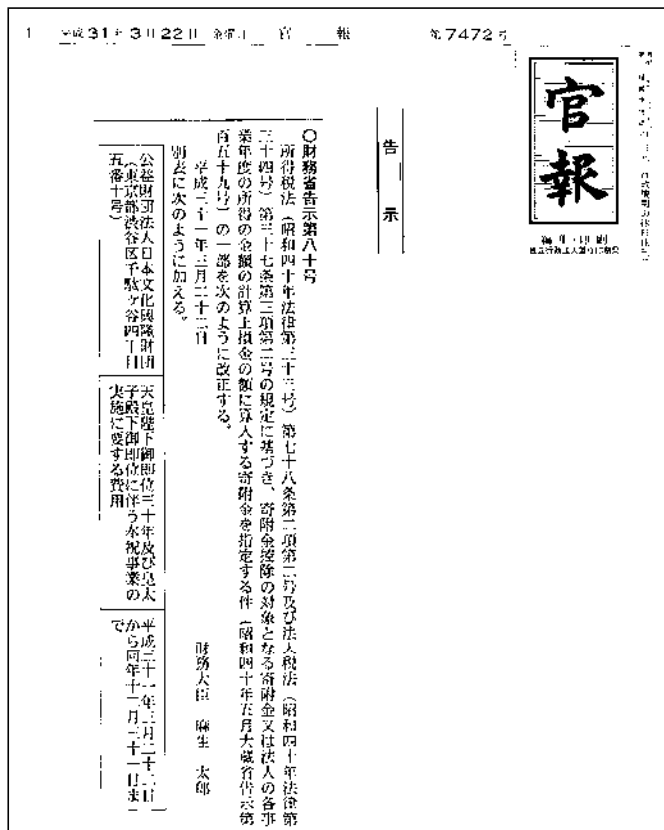


①皇室敬慕に関する事業

内閣府に同事業展開のため、事業の変更認定申請書を提出し平成31年2月25日付で認定
財務省から指定寄附金の指定告示を受け募金活動を開始し「天皇陛下ご即位奉祝感謝の集い」を開催

日本文化の振興を図る目的から多種多様な方向に啓発活動を展開する事業として、皇室敬慕に関する事業を推進し、日本文化を語る際に外すことが出来ない日本国及び日本国民統合の象徴である皇室への理解促進を図るべく、平成31年3月22日付にて「天皇陛下御即位三十年及び皇太子殿下御即位に伴う奉祝事業の実施に要する費用」について財務省から指定寄附金に指定され、募金活動を開始し、国民の皇室への敬愛の念を育む各種文化事業、広く国民にその趣旨を伝える奉祝事業の推進を行い、平成31年4月10日には、国立劇場（東京）で政府要人、外国公使、国民各界各層代表、約1,500名が参加して「天皇陛下ご即位三十年奉祝感謝の集い」を開催した。

共 催：天皇陛下御即位三十年奉祝国会議員連盟
天皇陛下御即位三十年奉祝委員会
公益財団法人日本文化興隆財団
開催日：平成31年4月10日
会 場：国立劇場
参加者：各界代表1800名



官報第7472号（平成31年3月22日）

②日本文化の興隆事業

○田んぼ学校

第12回田んぼ学校 稲刈り（台風で中止）
第13回田んぼ学校 田植えを開催

日本の伝統精神、文化と切り離すことが出来ない「米作り」について体験を通して学ぶ「田んぼ学校」は、埼玉県熊谷市の古宮神社（茂木貞純宮司）及び近接圃場で継続開催した。同学校では稲作体験はもとより、米の歴史や信仰、植物学的な面からもアプローチし、「日本人と米」の関係を再発見する米の総合学習として開催している。

《会 場》埼玉県熊谷市・古宮神社及び近接圃場
《主 催》日本文化興隆財団
《協 力》古宮神社（茂木貞純宮司・國學院大學教授）
《場 所》古宮神社（埼玉県熊谷市池上）
《日 程》○第12回 田植え※前年度事業
平成30年6月17日（日）
○第12回 稲刈り※台風接近により中止
平成30年10月7日（日）
○第13回 田植え
令和元年6月23日（日）
《参加費》大人：11,600円 小人：9,600円（田植え・稲刈込み）
《対 象》中学生以下の子供とその保護者・大人のみの参加も可能
《参加者》各回約100名
《内 容》【田植え】
豊作祈願祭・おむすび作り・ポン菓子作り・白丁、早乙女体験・田植え・田植機デモンストレーション
【稲刈り】
稲刈り・コンバインデモンストレーション・豊作感謝祭
脱穀糲摺り体験・餅つき

○日本神話一人語り公演「日本神話 イザナミ語り」

日本人の和の心や文化の原点ともいへる神話に触れ、継承されてきた日本神話の世界観を声優・小山茉美氏による「一人語り」といふ形式で雅楽を取り入れ、不特定多数の一般に向けた日本神話啓発事業「イザナミ語り」として開催した。

平成30年度実施内容

1「なら記紀・万葉 記紀を語る講演会」
《場 所》奈良県・桜井市図書館
《主 催》奈良県
《共 催》桜井市
《日 程》平成31年3月2日
《参加者》一般応募者270名
《協 力》桜井市・大神神社（神職に雅楽奏楽の協力をいただいた）

2「三重県神道青年会70周年記念大会」
《場 所》四日市プラトンホテル
《主 催》三重県神道青年会
《日 程》平成31年3月25日
《協 力》皇學館大学（雅楽部に雅楽奏楽の協力をいただいた）



なら記紀・万葉 記紀を語る講演会



三重県神道青年会70周年記念大会



小山茉美（声優・ナレーター）

Dr. スランプ・アラレちゃん（アラレ）、名探偵コナン（ベルモット）、ワンピース（ビッグマム）ほか、番組ナレーターとしても活躍中。
日本神話を語り継ぐための「イザナミプロジェクト」を展開している。

○「古事記に親しむ」開催

一般社会人向けに『古事記』の原文素読を中心に、上巻・中巻・下巻の各三コースの講座を毎月1回、平成21年より約10年にわたり開催してきたが、平成30年7月28日、講師の佐久間靖之氏(享年81歳)が逝去されたことから、同月をもって本事業は終了となった。

《主 催》日本文化興隆財団

《講 師》佐久間靖之氏（古事記に親しむ会主宰）

《日 程》上巻素読コース（毎月第四水曜日）全12回中第 9回(6月27日)が最終回
中巻素読コース（毎月第三金曜日）全12回中第 9回(6月15日)が最終回
下巻素読コース（毎月第二金曜日）全12回中第10回(7月13日)が最終回

《会 場》日本文化興隆財団会議室

《対 象》一般

《会 費》各回500円

《教 材》『古事記に親しむ』佐久間靖之編著

《参加者》各回約20名



講師：佐久間靖之氏

○「日本を元気にする『古事記』のころ」開催

一般社会人向けに毎月一回継続開催した。本講座は東京・湯島天満宮権禰宜の小野善一郎氏を講師に、『古事記』が現代に問いかける紙背にある「心」を考える講座として好評を博し、各回約50名が受講した。



講座の様子

《主 催》日本文化興隆財団

《講 師》小野善一郎（湯島天満宮権禰宜）

《日 時》平成 29 年 11 月 20 日～平成 31 年 3 月 18 日（全 17 回）
平成 31 年 4 月 15 日～令和 2 年 12 月 21 日（全 20 回）
月 1 回月曜日 /18 時 30 分～ 20 時

《会 場》日本文化興隆財団会議室

《参加数》各回約 60 名

《受講料》各回 1, 000 円

○「大祓詞のころ」開催

小野善一郎氏を講師に「大祓詞」を解釈する基礎講座を毎月継続開催した。

「大祓詞」の解釈を通して古代から受け継がれてきた日本人が生み出した「祓」を学ぶ講座として好評を博し、毎回約50名が受講した。

《主 催》日本文化興隆財団

《講 師》小野善一郎（湯島天満宮権禰宜）

《日 時》平成 30 年 5 月 28 日～平成 30 年 12 月 10 日（全 8 回）
平成 31 年 3 月 25 日～令和 元年 12 月 23 日（全 10 回）
月一回 /18 時 30 分～ 20 時

《会 場》日本文化興隆財団会議室

《参加数》各回約 60 名

《受講料》各回 1, 000 円

○「新嘗のころ」開催

小野善一郎氏を講師に、「勤労感謝の日」から新嘗祭の復興を目的に、宮中の新嘗祭、神宮の神嘗祭を学び日本文化の根底にある「稲作」と新嘗祭を学ぶ講座を開催した。

《主 催》日本文化興隆財団

《講 師》小野善一郎（湯島天満宮権禰宜）

《日 時》第 1 回：宮中の新嘗祭 平成 30 年 11 月 1 日 19 時～ 20 時 30 分
第 2 回：神宮の神嘗祭 平成 30 年 11 月 2 日 19 時～ 20 時 30 分

《会 場》日本文化興隆財団会議室

《参加数》各回約 60 名

《受講料》各回 1, 000 円



講座テキスト『古事記のころ』

講座テキスト
『あなたを幸せにする大祓詞』

講座テキスト『新嘗のころ』

○鎮守の森保全活動

東日本大震災で流失した鎮守の森再生に向けて、東北復興支援の一環として全11回にわたり開催した「みんなの鎮守の森植樹祭」開催地の生育調査及び育樹活動をおこなった。また同活動の経費は全て、全国に協力、設置戴いている「鎮守の森を守る自動販売機」より1本当たりの売上金から5円が寄附され、同事業に活用されている。

平成30年度活動内容

平成31年3月10日、全植樹祭会場の中でも鹿の食害を受けてきた、宮城県石巻市雄勝町の五十鈴神社において、食害の調査を行った。前年度は、鹿の生息密度が高い地域における鎮守の森造りに、不嗜好（ふしこう）性の樹種の特定と実証実験を行い、今後の可能について観察を継続することとしたが、約1年後では、不嗜好性の樹種とされたアセビ、クスノキ、シキミ、イチヨウの中でもアセビ以外に被害が出ていることが確認された。



通路沿いに植樹したアセビに被害はない



今回初めてクスノキが被害にあった



平成30年7月



平成31年3月

通路沿いに植えたアセビは被害は免れたが、これまで順調に育ったクスノキは、食害に会い、枝も折られていた。一部、鹿の背丈以上に育った桜、カシ類は、被害が少なく、経過観察とした。これまで被害を受けなかった、向かって右側の鹿用フェンスも破壊され、前回約700本の生存確認した苗木もほぼ壊滅状態となっている。

【今後の対策】

林野庁森林保護対策室の鳥獣被害対策ガイドでは、新植地ではすべての植栽木が食害に遭い特に広葉樹の植栽木は、そのほとんどを食べてしまう調査報告も有る。また、成木しても冬期には樹皮剥ぎの被害もある。林野庁の同対策ガイドでは、野生鳥獣被害対策を捕獲の実施、被害防除、生息環境管理（間伐など）と、いずれも永続的な人的支援が必要な対策のみとなっており、被災地においては、コスト面からも適わない状況と、不嗜好性の樹種を植樹した実証実験にも限界があることもあり、向かって右側の鹿用フェンスの撤去と、不嗜好性の樹種の継続観察と、被害が経度の鹿の背丈を超える生存樹種の成長観察を行うこととした。

見渡神社補植作業

東日本大震災から8年目の平成31年3月11日、第7回植樹祭会場の福島県いわき市の見渡神社で、塩害で枯死寸前だった桜の老木の挿し木が成功したことから、國學院大學の黒崎浩行教授をはじめ16名が参加して、桜、シラカシ、タブノキなどの数種を補植した。



みんなの鎮守の森植樹祭 全11会場の生育状況 ※宮司名は植樹祭開催当時

①八重垣神社（宮司：藤波祥子）
鎮座地：宮城県亶理郡山元町高瀬笠野128
開催日：平成24年6月24日（日）
参加者：530名 植樹数：3238本



②吉田浜神明社（宮司：相原たか子）
鎮座地：宮城県亶理郡亶理町吉田字須賀畑108
開催日：平成24年8月14日（火）
参加数：250名 植樹数：1118本



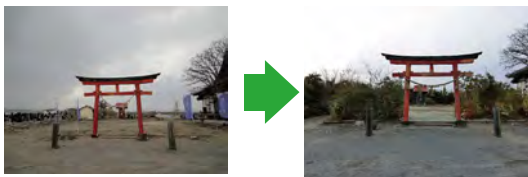
③青巢稲荷神社（宮司：萩野利邦）
鎮座地：宮城県亶理郡山元町山寺字浜96
開催日：平成25年4月29日（月）
参加数：350名 植樹数：2448本



④川口神社（宮司：渡邊光彦）
鎮座地：宮城県亶理郡亶理町荒浜字明神西190-1
開催日：平成25年5月3日（金）
参加数：250名 植樹数：1811本



⑤鳥海塩神社（宮司：相原たか子）
鎮座地：宮城県亶理郡亶理町長瀬字大橋199
開催日：平成25年7月7日（日）
参加者：550名 植樹数：2123本



⑥伊去波夜和氣命神社（宮司：大國龍笙）
鎮座地：宮城県石巻市大宮町5-45
開催日：平成26年4月6日（日）
参加数：350名 植樹数：3650本



⑦見渡神社（宮司：高木美郎）
鎮座地：福島県いわき市久之浜町金ヶ沢
開催日：平成26年4月27日（日）
参加数：280名 植樹数：790本



⑧新山神社（宮司：小田道雄）
鎮座地：宮城県石巻市雄勝町上雄勝3-35
開催日：平成26年5月3日（土）
参加数：200名 植樹数：2800本



⑨五十鈴神社（宮司：千葉秀司）
鎮座地：宮城県石巻市雄勝町分浜字分浜238
開催日：平成26年7月6日（日）
参加数：400名 植樹数：3330本



⑩山田神社（宮司：森 幸彦）
鎮座地：福島県南相馬市鹿島区北海老字磯ノ上
開催日：平成27年5月3日（日）
参加数：500名 植樹数：2970本



⑪八幡神社（宮司：鍵 三夫）
鎮座地：宮城県多賀城市宮内1-2-50
開催日：平成27年6月14日（日）
参加数：1000名 植樹数：6024本



総参加者：4,660名
総本数：30,292本

③季刊誌『皇室』の頒布普及事業

季刊誌『皇室Our Imperial Family』を年4回発行し、平成30年度は79号から82号を刊行した。日本宝くじ協会の助成金を活用し、3,500箇所全国の公共図書館への寄贈を66号から継続している。
また、「神社検定」の公式テキストとして広く一般に向けた新たな層へ皇室に対する理解促進、皇室祭祀の意義啓発の教化も兼ねた増頒布対策を行った。



平成30年度刊行

78号から「ご即位30年記念大特集 両陛下のお歩み」を5号連続で特集

第1回 78号 春号（平成30年4月25日刊行）

「象徴天皇」としてのお姿・困難な立場にある人に心を寄せられて
被災者への温かなお励まし・障害者と手を携えて・ハンセン病患者に寄り添われて
すべての人々に幸多かれと祈ってこられた30年間
両陛下 お互いへのおことば・両陛下のお歩み年表（平成元年～6年）ほか

第2回 79号 夏号（平成30年7月25日刊行）

平和を願われて・慰霊の旅・沖縄への思い・引き揚げ者をねぎらわれて
両陛下 お子様、お孫様へのおことばとお歌
両陛下のお歩み年表（平成7年～12年）ほか

第3回 80号 秋号（平成30年10月25日刊行）

全国をくまなく巡られて・地方ご訪問（三大行幸啓・離島）
両陛下のお歩み年表（平成13年～18年）ほか

第4回 81号 冬号（平成31年1月25日刊行）

世界の人々とともに・王室とのご交際・日系人、在外日本人を思われて
両陛下と御所のお庭
両陛下のお歩み年表（平成19年～24年）ほか

第5回 82号 春号（平成31年4月25日刊行）

伝統と文化への敬意・天皇陛下のご研究・皇后陛下－文学に心寄せられて
お稲作とご養蚕・道を究めようとする人々を励まされて
両陛下のお歩み年表（平成25～31年）ほか

平成30年度刊行

83号より新帝陛下ご即位号を機に誌面の大幅なりニューアルを実施

皇室 THE IMPERIAL FAMILY 83号 夏号（令和元年7月25日刊行）
※令和元年度事業

- 判型を従来のA4変形判からA4正寸に変更
- カラー・モノクロから前ページオールカラー化

【83号特集内容】

慶祝 新帝陛下ご即位

令和の御代を迎えて

厳かに晴れやかに ご即位の諸儀式

感謝と惜別の思いにつつまれて ご譲位の諸儀式

上皇・上皇后両陛下 ご譲位を前にされて ほか



④神道文化検定（神社検定）の実施



第 8 回神道文化検定（神社検定）開催

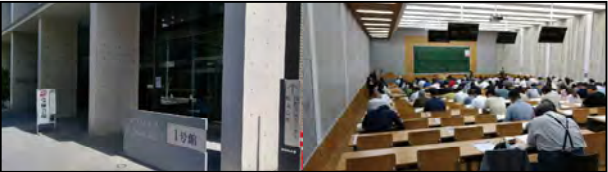
神道文化検定（神社検定）は、神道に対する正しい知識の啓発と日本文化の興隆を図る事業として、神社本庁が監修、一般財団法人神道文化会、株式会社扶桑社の後援で平成24年から毎年開催している。
第8回となる同検定は、令和元年6月16日に全国46箇所で開催され、3,466名の申し込みがあった。
第8回は「神社の基礎と神話」をテーマとする参級、「神社の歴史と伊勢神宮」をテーマとする式級、幅広い神道の知識を問ふ壹級の各検定を実施し、壹級が167名、式級が342名、参級が1,135名が合格した。
同検定は日本人が元来有する伝統的精神を掘り起こし、日本文化の素晴らしさを再認識させる教化に資する事業として継続開催する予定である。

《主 催》公益財団法人日本文化興隆財団
《監 修》神社本庁
《後 援》一般財団法人神道文化会・株式会社扶桑社
《日 程》令和元年6月16日（日）
《会 場》全国46会場
《申込者》3,466名（昨年比+58名）

□受検者数と合格率

壹級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	435名（+37名）	388名（+32名）	167名（+25名）	43%（前回39.9%）	66.9点（前回65.8点）
式級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	1095名（-23名）	846名（+34名）	342名（-19名）	40.4%（前回41%）	64.4点（前回64.1点）
参級	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	平均点
	1936名（+44名）	1565名（+65名）	1,135名（+58名）	72.5%（前回71.8%）	78.7点（前回77.3点）
合計	3466名（+58名）	2799名（+63名）	1,644名（+64名）		

会場の様子



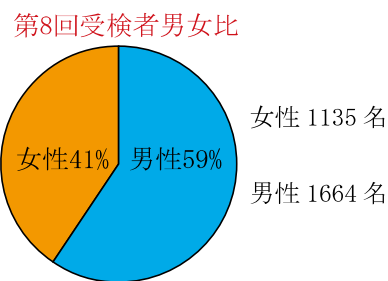
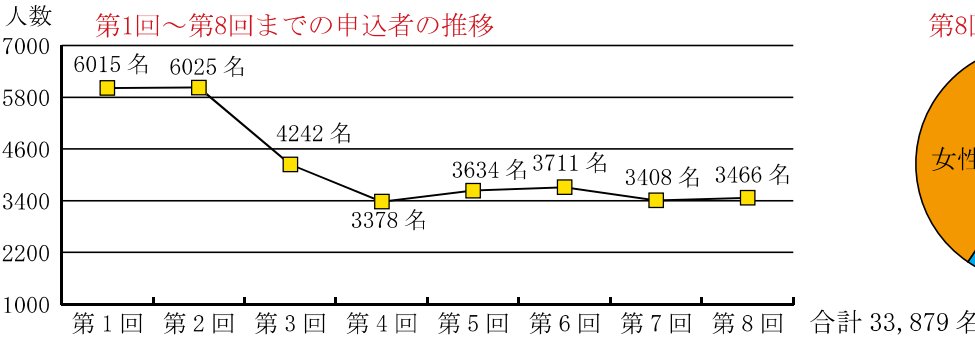
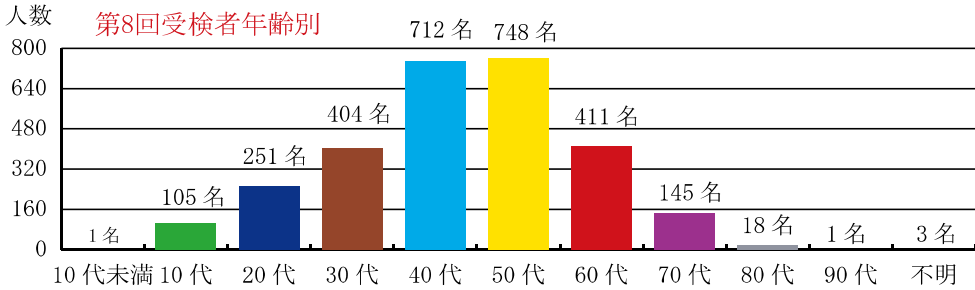
東京・國學院大學



神奈川・伊勢山皇大神宮



埼玉・埼玉県神社庁



◆都道府県別（会場別）受検者数及び合格者数

	試験会場	壹級	合格者数	式級	合格者数	参級	合格者数
	北海道神社庁	13	5	13	4	31	19
一般会場	青森県神社庁	1	0	2	0	9	6
	岩手県神社庁	0	0	2	1	6	3
	宮城県神社庁	4	2	7	1	28	21
	秋田県神社庁	0	0	5	3	10	8
	山形県神社庁	3	2	3	0	6	4
	福島県神社庁	4	3	8	2	18	15
	茨城県神社庁	2	2	13	6	20	16
	栃木県神社庁	5	3	11	3	21	13
	群馬県神社庁	6	3	9	5	25	19
	國學院大學渋谷キャンパス	110	50	301	123	530	397
	埼玉県神社庁	25	9	34	19	57	39
	千葉県神社庁	14	7	16	8	34	18
	伊勢山皇大神宮	21	10	25	10	45	35
	新潟県神社庁	2	1	11	3	17	10
	富山県中小企業研修センター	4	2	6	4	14	11
	石川県神社庁	6	2	8	3	13	11
	福井県神社庁	1	0	3	1	7	7
	山梨県神社庁	5	4	1	0	13	7
	長野県神社庁	5	2	15	7	13	8
	岐阜県神社庁	3	2	4	3	19	18
団体会場	もくせい会館	8	1	8	4	15	12
	小國神社	5	3	8	4	20	12
	名古屋女子大学汐路学舎	24	9	45	19	82	64
	皇學館大学	7	4	20	9	22	16
	三重県神社庁	3	0	8	3	7	6
	滋賀県神社庁	2	0	10	6	22	17
	京都府神社庁	18	6	18	11	36	26
	大和大学	23	10	53	22	82	62
	兵庫県私学会館	12	3	24	8	45	31
	三輪明神大神神社	8	0	16	3	25	19
	和歌山県神社庁	2	0	3	0	3	3
	宇倍神社	0	0	2	1	4	3
	島根県神社庁	1	1	8	4	7	7
	岡山県神社庁	5	1	12	3	19	11
	広島県神社庁	4	2	17	5	25	18
	山口県神社庁	3	2	3	2	9	6
	徳島県神社庁	0	0	3	0	3	2
	香川県神社庁	4	2	6	0	10	7
	愛媛県神社庁	1	0	4	2	10	6
	大宰府天満宮	18	11	36	5	69	51
団体会場	長崎県神社庁	0	0	9	2	13	10
	熊本県神社庁	2	0	3	2	17	13
	大分県神社庁	0	0	5	5	14	9
	宮崎神宮会館	2	2	4	2	5	4
	照國神社	2	1	7	2	21	11
	廣田神社	0	0	3	3	4	4
	奄美大島	0	0	0	0	4	3
	鶴岡八幡宮	0	0	0	0	9	4
	國學院大學北海道短期大学部	0	0	0	0	7	3
	防衛大学校	0	0	3	0	4	3
会場	將門神社	0	0	7	7	0	0
	若宮八幡宮	0	0	1	1	6	6
	株式会社セレスポ	0	0	3	1	10	1
		388	167	846	342	1,565	1,135
		合格率	43.0%	合格率	40.4%	合格率	72.5%

事前対策講座（公式テキスト別）初のWEB講座公開



eラーニング&DVD

GoGetter2



公式テキストの学び方を通して、神道、神社の基礎知識を深めてもらうことを目的に3級、2級の公式テキスト毎にWEB上で対策講座を有料公開し、スマホ、タブレット、パソコンからも容易に視聴できるシステムの開発を行い、遠隔地の方でも受検者全てに対策講座が受講が可能となった。

またWEBで視聴できない方用にDVDの販売も行った。



ゴーゲッターズ 検索
https://gogetterz.com/
GoGetter2
「ゴーゲッターズ」で検索

講座講師：國學院大學准教授 藤本頼生

講座販売数

①神社のいろは編（70分）	3,300円（DVD 3,780円）	19ダウンロード（DVD 78枚）
②神話のおへそ編（99分）	3,800円（DVD 4,320円）	20ダウンロード（DVD 83枚）
③神社のいろは続編（115分）	4,400円（DVD 4,860円）	6ダウンロード（DVD 60枚）
④伊勢神宮と遷宮のかたち編（104分）	3,800円（DVD 4,320円）	4ダウンロード（DVD 61枚）
①+②セット	6,500円（DVD販売無）	47ダウンロード
③+④セット	7,600円（DVD販売無）	82ダウンロード

見て触れて知る「神社のいろは」特別セミナー

テキストだけでは知ることが出来ない神社の施設・備品祭器具祭服などの基本的な知識を実際に見て、触れて学ぶ神社有職故実の入門講座を國學院大學の祭式教室で開催した。

《主 催》日本文化興隆財団
《会 場》國學院大學祭式教室
《開催日》平成31年4月21日（日）13時～15時30分
《講 師》國學院大學神道文化学部教授 茂木貞純
《参加費》検定合格者 5,400円
一般参加者 6,480円
《参加者》70名
《講座内容》作法編：手水の使い方・拝礼、拍手の仕方
修祓と神饌・祝詞と玉串拝礼
有職編：神職の持ち物・履き物・神職の服装（冠・笏・浅沓）・巫女装束



初穂曳（合格者限定）

神社検定合格者限定で、神宮で新穀感謝の心と神宮神嘗祭に触れる機会を合格者に提供するとともに、合格者間の懇親を深める場ともなった。
また、㊦級合格者は限定数で「神嘗祭由貴夕大御饌」を奉拝した。
《開催日》平成30年10月15日（月）雨天
《参加者》44名（昨年比-33名）※内㊦級合格者は10名
《参加費》初穂曳9,000円 神嘗祭由貴夕大御饌1,500円



【公益事業】国旗小旗の無償頒布を通した国旗啓発事業

全国の敬神婦人会（71団体）の協力を得て、国旗約13万本の奉製を戴き国旗啓発事業として無償頒布を行った。
平成30年度は、77団体（前年度57団体）から128,550本の助成申請が有り、107,903本を助成した。

	申請団体	頒布行事名	申請本数	助成本数
1	岡山県神社庁	第54回献血運動推進全国大会 ※西日本豪雨により中止	10,000	0
2	日本会議静岡	天皇皇后両陛下御奉送迎 ※西日本豪雨により中止	3,000	0
3	日本弥栄の会	第三回 日本を取り戻す！国民大行進	150	0
4	日の丸行進の会	第83回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	150
5	自衛隊を応援する市民の会	出雲駐屯地開庁記念（市中パレード）式典	500	500
6	大阪弥栄の会	第四回 日本を取り戻す！国民大行進	150	150
7	日本会議群馬県本部	天皇皇后両陛下草津行幸	1,000	1,000
8	日本会議北海道本部	天皇陛下北海道行幸啓	2,000	2,000
9	神道政治連盟長野県本部	天皇皇后両陛下御奉送迎	4,000	2,000
10	天皇皇后両陛下高知県奉迎委員会	全国豊かな海づくり大会～高知家大会～	2,000	1,150
11	天皇皇后両陛下福井県奉迎委員会	天皇皇后両陛下ご奉迎行事	3,000	3,000
12	岩国市建国記念の日奉賛会	建国記念の日祝賀式典・祝賀パレード	500	500
13	日本会議青森県本部弘前支部	自衛隊記念日市中パレード	1,000	1,000
14	大阪弥栄の会	第五回 日本を取り戻す！国民大行進	150	150
15	有限会社 近森隣写堂	第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～	10,000	10,000
16	バンガロール日本人会	FIBA U18 女子Asian選手権大会2018、FIBA U19 女子バスケットボールワールドカップ2019 アジア地区予選	500	500
17	日の丸行進の会	第83回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	150
18	日本会議福岡	皇太子殿下奉迎	10,000	7,500
19	日の丸行進の会	第83回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	150
20	山形県神社庁	第21回全国農業担い手サミットに際し 皇太子殿下行啓奉迎活動	5,000	5,000
21	大阪弥栄の会	第五回 日本を取り戻す！国民大行進	150	150
22	天長節奉祝祭	天長節奉祝祭	1,500	1,500
23	日の丸行進の会	第87回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	150
24	尊皇隊	天長節への日の丸掲揚促進	5,000	5,000
25	不二歌道会	天皇誕生日一般参賀	5,000	5,000
26	不二歌道会	新年一般参賀	5,000	5,000
27	静岡県神社庁	天皇皇后両陛下御奉送迎	3,000	3,000
28	大阪弥栄の会	第五回 日本を取り戻す！国民大行進	150	150
29	日本会議恵庭支部	北海道恵庭市・千歳市成人式	900	781
30	日の丸行進の会	第87回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	150
31	天皇陛下御即位三十年奉祝徳島実行委員会	天皇陛下御即位三十年奉祝提灯行列	600	600
32	浜松市建国記念の日奉祝運営委員会	浜松市建国記念の日奉祝式典	1,000	1,000
33	天皇陛下御即位三十年奉祝委員会	平成31年一般参賀	2,000	2,000
34	日本のため行動する会	成人式国旗配布事業	2,000	2,000
35	日本の建国を祝う会	建国記念の日奉祝記念行事	500	500
36	牧之原市国旗掲揚推進実行委員会	第13回牧之原市建国記念奉祝式典	350	350
37	柳井地区建国記念日を祝う会	建国記念日を祝う会	100	100
38	大阪弥栄の会	第八回 日本を取り戻す！国民大行進	150	150
39	日の丸行進の会	第89回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	150
40	国旗を掲揚する匝瑳市民の会	平成31年度匝瑳市成人式	300	300
41	日本会議三重 四日市支部	建国記念の日奉祝祭・天皇陛下御即位30年記念小旗行列	200	77
42	天皇陛下御即位30年感謝の誠を捧げる京都府民の集い	奉祝天皇陛下御即位30年感謝の誠を捧げる京都府民の集い	2,000	600
43	日の丸行進の会	第89回日本唱歌を歌う日の丸行進	2,000	2,000
44	建国記念の日奉祝運営委員会	建国記念の日奉祝静岡市式典・市民パレード	2,000	2,000
45	静岡県東部建国記念の日奉祝会	建国記念の日並天皇陛下御即位30年奉祝パレード	500	500
46	尊皇隊	紀元節お祝い、御代替り奉祝	6,000	6,000
47	小樽市建国記念の日奉祝会	第52回建国記念の日のつどい	500	500
48	郡山市建国記念の日奉祝会	建国記念の日奉祝郡山式典	150	150
49	建国記念の日を祝う宮城県民大会実行委員会	奉祝天皇陛下即位30年、第53回建国記念の日を祝う宮城県民大会	600	600
50	日本会議福岡	建国記念の日に天皇陛下御即位30年をお祝いする集い	800	800
51	日本会議福岡県南支部	日本の建国をお祝いする市民の集い	800	500
52	大阪弥栄の会	第九回 日本を取り戻す！国民大行進	150	150
53	日本会議北海道本部	皇紀2679年建国記念日奉祝道民の集い	3,000	3,000
54	日本会議三重 伊勢支部	第五十三回建国記念の日伊勢奉祝の集い	1,000	1,000
55	天皇陛下即位三十年奉祝神奈川委員会	天皇陛下御即位三十年神奈川県奉祝神輿パレード	1,000	1,000
56	日の丸行進の会	第90回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	150
57	大阪弥栄の会	第十一回 日本を取り戻す！国民大行進	150	150
58	日本会議奈良	行幸啓奉迎	1,500	1,500
59	宗教法人 霊友会第八支部教会	霊友会第八支部妙一会 お花まつり	1,000	1,000
60	日の丸行進の会	第91回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	150
61	日本会議京都	天皇皇后両陛下御入洛御奉送迎	1,500	1,500
62	奈良県神道青年会	天皇皇后両陛下行幸啓奉送迎	1,500	1,500
63	北海道神道青年協議会	奉祝 天皇陛下即位 みんなで祝おう～平成から令和へ～	1,000	1,000
64	新天皇陛下御即位福山奉祝委員会	新天皇陛下御即位をお祝いする集い	1,500	1,445
65	神道政治連盟長野県本部	天皇陛下御即位奉祝行事	1,000	1,000
66	天皇皇后両陛下八王子奉迎会	昭和天皇山棲親謁の儀 奉迎	2,500	2,500
67	立志神社	春の例大祭に伴い天皇陛下御即位をお祝いする行事	1,000	850
68	日の丸行進の会	第92回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	150
69	日の丸行進の会	「天皇陛下御即位奉祝」行進	150	150
70	日の丸行進の会	「天皇陛下御即位奉祝」行進	150	150
71	土生神社	天皇陛下御即位奉祝行進	150	150
72	射水神社	奉祝御大典稚児社参	700	700
73	天皇皇后両陛下愛知県奉迎委員会	天皇皇后両陛下奉迎活動	10,000	10,000
74	日の丸行進の会	天皇陛下御即位奉祝行進（第93回日本唱歌を歌う日の丸行進）	200	200
75	日本会議青森県本部青森支部	第九師団創立57周年青森駐屯地創立六八周年記念行事市中パレード	1,500	1,500
76	大阪弥栄の会	天皇陛下御即位奉祝行進（第十三回日本を取り戻す行進）	200	200
77	日の丸行進の会	第94回日本唱歌を歌う日の丸行進	150	150
			128,550	107,903

奉製の様子



助成団体の活動



【公益事業】国民の健全育成事業

①硫黄島訪島事業

大東亜戦争においては、多くの日本人が祖国の存続と家族の安寧を願い戦地に赴かれ、そして彼の地で散華された。

硫黄島は日本領土内で初めて国土戦が開戦された島であり、島内地には、今でも約13,000柱の遺骨が残されたままの状態である。本事業は、硫黄島を訪問し、この国の歴史と向き合い、英霊に対して赤誠の心を捧げ、戦跡の巡拝をおこなう中で、自国を誇る歴史観や国家観を備えた人材を育成することを目的に平成27年から、内閣府と厚生労働省の後援を得て公益社団法人日本青年会議所との共同事業として開催している。

平成30年度は、硫黄島の噴火と群発地震により中止となった。

《場 所》硫黄島（東京都小笠原村）ほか

《共 催》日本文化興隆財団
日本青年会議所関東地区協議会

《日 程》平成30年9月19日(月)結団式・入間第一ホテル宿泊
平成30年9月20日(火)入間基地から出発（訪島）

※噴火及び群発地震により中止

《対 象》硫黄島戦没者ご遺族及び関係者

《参加者》55名※当財団募集枠25名

《参加費》50,000円



②建国メモリアル ザ・マーチングコンテスト後援事業

建国記念の日を開催される『『建国記念の日』奉祝記念行事』に、主催団体である日本の建国を祝う会からの要請により、国旗小旗の提供、職員派遣等の助成を行うとともに、「建国メモリアル ザ・マーチングコンテスト」にも後援団体として参画し、助成金の交付及び審査員の派遣もおこなった。

《開催日》平成31年2月11日

《主 催》建国記念の日表参道パレードコンテスト実行委員会

《後 援》公益財団法人日本文化興隆財団

《協 力》東京都大学吹奏楽部連盟・商店街振興組合原宿表参道櫓会
NPO法人日本鼓笛バンド・フォーラムバトン連盟

